

講習会のお知らせ

■ 救急法基礎講習：1日コース

心肺蘇生やAEDを用いた除細動などが学べます

2/21(水)	県総合体育センター	9:00~16:30
3/21(水・祝)	日赤富山県支部	9:00~16:30

■ 救急法救急員養成講習：2日間コース

急病の手当、けがの手当、搬送などが学べます

2/22(木)~23(金)	県総合体育センター	9:00~16:30
3/24(土)~25(日)	日赤富山県支部	9:00~16:30

■ 幼児安全法支援員養成講習：2日間コース

子どもに起こりやすい事故の予防と手当、子どもの病気への対応などが学べます

3/3(土)~4(日)	日赤富山県支部	9:00~17:00
-------------	---------	------------

● 資格継続研修

平成28年3月31日までに救急員等認定証を取得され、かつ発行日から2年経過し有効期限内の方が対象です。(平成28年4月1日以降の救急員等認定証取得者への資格継続研修は廃止されました。)
受講により、現在お持ちの認定証の有効期限が5年延長されます。

救急法 ▶ 3/10(土)	日赤富山県支部	13:00~17:00
---------------	---------	-------------

受講のお申し込みやお問い合わせ先 日本赤十字社富山県支部 事業推進課 TEL 076-451-7878 <http://www.toyama.jrc.or.jp/> (ホームページから申し込みができます)

街頭献血のお知らせ

※お昼時間は受付を休みます。
★日程は都合により変更することがあります。

2月

4日(日)	アル・プラザ小杉	10:00~16:00
	アピタ砺波店	10:00~16:00
10日(土)	イオンモール高岡	10:00~16:30
11日(日)	ファボーレ	10:00~16:30
12日(月)	イオンモール高岡	10:00~16:30
18日(日)	ファボーレ	10:00~16:30
	アピタ魚津店	10:00~16:00
25日(日)	ファボーレ	10:00~16:30
	イオンモール高岡	10:00~16:30

3月

4日(日)	ファボーレ	10:00~16:30
5日(月)	ショッピング ア・ミュウ	10:00~16:00
11日(日)	アピタ富山東店	9:00~16:30
	イオンモール高岡	10:00~16:30
18日(日)	ファボーレ	10:00~16:30
21日(水)	イオンモール高岡	10:00~16:30
25日(日)	ハッピータウン 氷見店	9:30~16:00

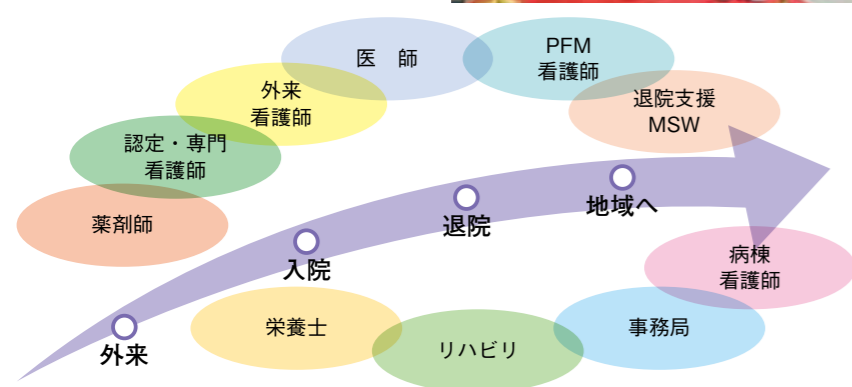
(表記以外の献血場所)
マリエ献血ルーム 富山市桜町1-1-61 マリエとやま6F TEL 076-445-4500
受付時間は、10:00~12:00・14:00~18:00

お問い合わせ先 富山県赤十字血液センター TEL 076-451-5555 <http://www.toyama.bc.jrc.or.jp/>

患者支援センター開設

患者支援センターは、富山赤十字病院内の地域医療連携室を改装し、10月に開設しました。センターでは、外来通院中から入院後の治療・退院準備・退院後の生活をサポートするため、患者さんの療養や介護などのあらゆる問題を、多職種で連携しサポートを行います。

患者さんの病院での治療や自宅での生活を、安心・納得してできるよう、病院内だけでなく地域の包括支援センターや訪問看護とも連携し支援していきたいと考えています。



イベント(キッズ献血)のお知らせ

3月に「キッズ献血 in イオンモールとなみ」を開催します。

イベントでは、献血の大切さや重要性を楽しみながら知ってもらうため、子どもたちには献血の模擬体験をしてもらいます。当日は、献血推進キャラクター「けんけつちゃん」との記念撮影会や献血グッズのプレゼントなど盛りだくさんの内容でみなさまをお待ちしております。

みんなでイオンモールとなみに遊びに来てね!

日時 平成30年3月21日(水・祝) 10:00~16:00
場所 イオンモールとなみ 1Fチューリップコート (砺波市中神1丁目174番地)

キッズ献血についてのお問い合わせ

富山県赤十字血液センター 献血推進課
TEL 076-451-5555



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字とやま

災害に備えて(救援物資の紹介)



(写真提供 日本赤十字社新潟県支部)

平成28年12月22日、新潟県糸魚川市で大規模火災が発生しました。市街地で約30時間にわたって燃え広がった火災は、焼失面積約40,000㎡、焼損棟数147棟との報告が出されました。この火災に対し、日本赤十字社新潟県支部では、日赤災害医療コーディネイトチームを避難所に派遣するとともに、救援物資の配布を行いました。

日本赤十字社では、大規模災害だけでなく、地域で起こる火災や浸水被害などの災害に対しても救援物資を配布しています。また、これら救援物資は、皆さまからの会費や寄付金で整備し、被災された方々にいち早くお届けするため、各市町村の赤十字窓口(社会福祉課や社会福祉協議会など)に分置しています。

被災者に寄り添う日本赤十字社の活動に、今後とも、ご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

○富山県内での災害に対する救援物資配布実績(平成28年度)

災害名など	配布状況
南砺市利賀村地すべり災害	毛布4枚、綿毛布2枚、緊急セット4組、カセットコンロ3台、鍋(大小)4組、タオル40枚
県内市町での火災(19件)	毛布106枚、綿毛布12枚、緊急セット34組、カセットコンロ21台、鍋(大小)20組、ポット2台、タオル610枚



毛布



緊急セット

日本赤十字社 創立140周年

140年前の1877(明治10)年、西南戦争をきっかけに日本赤十字社の前身となる「博愛社」が誕生しました。以来、日本赤十字社は、人間のいのちと健康、尊厳を守るための活動を行っています。

主な日本赤十字社の動き

西南戦争 救護団体「博愛社」設立(日本赤十字社の前身)	1877(明治10)年
博愛社病院設立	1886(明治19)年
日本赤十字社に改称し、国際赤十字に加盟	1887(明治20)年
磐梯山噴火で救護班派遣(世界初、平時の自然災害救護)	1888(明治21)年
救護看護婦の養成を開始	1890(明治23)年
濃尾地震で日赤養成の看護婦を初めて派遣	1891(明治24)年
日清戦争で救護班派遣	1894(明治27)年 ～1895(明治28)年
日露戦争で救護班派遣	1904(明治37)年 ～1905(明治38)年
第一次世界大戦およびシベリア出兵での救護活動	1914(大正3) ～1922(大正11)年
少年赤十字活動開始(現 青少年赤十字)	1922(大正11)年
関東大震災で救護(193カ所で56万人超を救護)	1923(大正12)年
満州事変、日中戦争、第二次世界大戦での救護 (3万人以上の救護看護婦を派遣)	1931(昭和6)年 ～1945(昭和20)年
赤十字奉仕団結成 救急法、家庭看護法、水上安全法開始	1948(昭和23)年
血液銀行東京業務所設置 (1964(昭和39)年 血液センターに改称)	1952(昭和27)年
NHK海外たすけあいキャンペーン開始	1983(昭和58)年
群馬県御巣鷹山 日航機墜落事故に救護班を派遣	1985(昭和60)年
阪神淡路大震災で救護	1995(平成7)年
新潟県中越地震で救護	2004(平成16)年
能登半島地震で救護	2007(平成19)年
新潟県中越沖地震で救護	2011(平成23)年
東日本大震災で救護	2011(平成23)年
熊本地震で救護	2016(平成28)年
日本赤十字社創立140周年	2017(平成29)年



博愛社の創設者
佐野常民



救護看護婦の養成を開始



赤十字奉仕団結成



赤十字奉仕団結成

1889年(明治22)年
日本赤十字社富山県委員部設立
(現 日本赤十字社富山県支部)



1895(明治28)年
日本赤十字社準備看護婦養成所設置
(現 富山赤十字看護専門学校)

1907(明治40)年
日本赤十字社富山支部病院設立(現 富山赤十字病院)



1952(昭和27)年
富山県立乳児院を富山県支部が受託、業務開始

1965(昭和40)年 富山県赤十字血液センター設立



阪神淡路大震災



東日本大震災



中越地震



能登半島地震



熊本地震



かくれ糖尿病(食後高血糖)にご用心! -始めようヘルシーライフ-

11月14日の世界糖尿病デーに合わせ、11月13～15日の3日間、富山赤十字病院2階やすらぎホールで糖尿病イベントを行いました。毎年恒例の血糖測定、看護師・栄養士による健康相談、有酸素運動体験コーナーに加え、今年はHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)測定と体成分測定を行いました。

初期の糖尿病や予備軍は、血糖値だけを測定しても診断がつかないことがあります。このような人たちは「かくれ糖尿病」と呼ばれます。「かくれ糖尿病」ではお腹が空いた時の血糖値を測っても、正常なことがほとんどです。HbA1c測定は、指先から採取した少量の血液で最近2ヶ月間の血糖値の平均が分かるため「かくれ糖尿病」の早期発見にとても役に立ちます。

また、見た目は全然太ってないのに実は体脂肪が多い「かくれ肥満」も問題です。これは、「InBody」(インボディ)という体成分分析装置を使うことで、体脂肪・筋肉量を知ることができます。筋肉量が少ない、体脂肪の中でも内臓脂肪が多いことは、糖尿病だけでなく高血圧や脂質異常も引き起こします。

今回のイベントでは、非常に多くの方が「かくれ糖尿病」や「かくれ肥満」に興味を持ち参加して下さいました。是非この気持ちを忘れずに、よりよい生活習慣を末長く心がけていただきたいと思います。



InBodyを使った測定(イメージ)

若年層献血推進キャンペーン実施中 ～10代の献血者が減少中～

今、全国的に10代～30代の若年層と言われる年代の献血者数が減少しています。これは、少子高齢化に伴う献血可能人口の減少、また若い方の献血への関心が薄れてきていることが原因と思われます。

全国では1日平均3,000人の方が輸血を受けており、この先さらに少子高齢化が進み現在の献血率で推移した場合、10年後には約85万人分の血液が不足すると予測されています。

富山県赤十字血液センターでは、こうした状況に歯止めをかけるため、10代を中心とした若年層を対象にキャンペーンを行い、献血参加を呼び掛けています。

今こそ若い皆さんの力がが必要です!ご家族・ご友人お誘いのうえ、献血へのご協力をお願いいたします。

- 🌟 若年層献血推進キャンペーン
期間 平成29年12月～平成30年3月31日
- 🌟 「はたちの献血」キャンペーン
期間 平成30年1月1日～2月28日

